

# (一社)新潟ニュービジネス協議会 令和2年度第1回事業創造委員会 議事録

日時：2020年6月17日（水曜）18：00～

会場：万代シルバーホテル

## 1. 挨拶：山田眞一委員長（抜粋）

本来ならば6月に定時総会があり、新年度が正式にスタートするところだがこの社会状況により活動も足踏み状態となっている。まだ各々の方針により活動を再開できない方も多くいらっしゃるが、その中でもNBCの活動を前に進めたいとの前向きな意見をいただいたので、今回初開催させていただいた。

## 2. 初参加の方ご紹介

学校法人国際総合学園 伝統文化と環境福祉の専門学校 学校長 渡辺秀則氏  
株式会社ITスクエア 代表取締役社長 樋口徹氏

## 3. 協議事項

### (1) 今年度事業計画

#### ① 新潟地域産業見本市開催事業（にいがたBIZEXPO）協力について（阿部正喜 相談役より）

プロポーザルにより今後3年間の予定で新潟ニュービジネス協議会として受託した。担当は事業創造委員会。今年度は10月15、16日で、会場は産業振興センター。

昨今の状況でイベント関係が軒並み中止となっていて、出展申し込みは鈍い状況だ。

三密を避けるために通路を広げるなどの工夫をし、出展ブース数も当初予定の半分の120くらいでレイアウトしなくてはならないと考えている。

例年、関係団体さんが会員の出展に補助を出して、まとまった数のブースで出展してくれているが、今回はその出展予算を会員への援助に充てているため、ビズの出展補助ができないという団体さんが多く出ている。

今のところはリアル開催の予定だが、ビズの一週間後に開催の燕三条の「ものづくりメッセ」は早々にバーチャル展示会にするとの方針が出されている。ビズについてはリアルかバーチャルかの結論は出ていないが、どのような形になっても対応できるよう準備を進めている。

NBCとして受託している事業なので、委員会の皆さまからも出展の協力を願いたい。

#### ② 新潟ニュービジネス大賞の報告と次回の計画について（事務局）

今年度の結果は別紙「実施報告書」の通り。

「本事業を盛り上げたい」との想いのもと、運営チームでアイデアを出し、審査員の評価やコメントをとりまとめた「審査評価表」を初の試みで応募者へ結果報告とともにお渡しした。また、中止となったが審査員と応募者との交流会なども企画していた。

例年通り、応募者集めに苦戦した。運営チームもメンバーが集まらず、決まった会員さんにだけ負担がかかっている。広報の仕方や審査会の開催方法の見直しや、実施可否も含めて再検討していただきたい。

しかしながら、審査会の中では審査員から応募企業の事業内容のレベルの高さにお褒めの言葉をいただいている。微力ではあるが、新潟地域の新事業を応援する趣旨の活動を絶やしたくないと前向きに考えている。

また、今回表彰式を行っていないので、代替案としてビズエキスポのセミナー会場枠を利用してプレゼンテーションを行ってもらえるのはどうだろうか。

JNBニッポン新事業創出大賞への推薦は、大賞の「エンゼル・ひまわりグループ」さま、入選の「株式会社プラントフォーム」さまの二社について行った。同じく入選の「株式会社バイオテックジャパン」さまは辞退。全国大会（＝ニッポン新事業創出大賞の表彰式）の開催有無については、6月中にJNBから連絡があると聞いている。

・山田委員長よりご意見

表彰式の代わりにビズの前にでも、例会としてプレゼンテーションをしていただいたらどうか

・阿部相談役よりご意見

もし、全国大会がないのであれば、新潟ニュービジネス大賞も一年お休みしたらどうか。大賞賞金10万円では、魅力がない。大口の協賛企業がいるとよいが。

## (2) 皆さまよりご連絡

現状や今後の展望などについて皆さまよりお話いただいた。また、委員会終了後の意見交換会の場で、今年度は委員会所属メンバー企業の特徴を活かし、ビジネスマッチングによる新事業創出を目指そうとの話が挙がった。

※委員会に参加したことのない方も、事業所の垣根を超えた交流の中で、新たな気づきが見つかると思います。ぜひ一度、お気軽に委員会へご参加ください（事務局より）

※次回開催日 2020年8月19日（水曜）18：00～（委員会終了後、懇親会）  
万代シルバーホテルにて

以上